


審査結果報告書

平成 26 年 2 月 3 日

主 査 氏 名 村 雲 芳 樹 

副 査 氏 名 岡 秀 宏 

副 査 氏 名 岩 村 正 嗣 

副 査 氏 名 大 部 誠 

1. 申請者氏名 : DM11018 小林 信

2. 論文テーマ :
抗体を活用した肺癌の血清・組織診断マーカー候補タンパク質の獲得

3. 論文審査結果 :

学位審査では、本研究の独創性、実験手法の適切さ、結果の意義と将来の展望についてディスカッションした。肺がん細胞株の蛋白抽出液を抗原としたランダム免疫法にて作成したモノクローナル抗体と、肺がん患者血清中の自己抗体の2つを利用して、その抗原を検索することにより新規肺がん診断マーカーを同定するというストラテジーは、研究グループでの独創性のある内容であると考えられた。その中で、ランダム免疫法によるモノクローナル抗体を利用した解析により CAXII が新規診断マーカーの候補蛋白として同定されたが、その有用性を検討する実験過程についても、適切な検討がなされている。しかし、その研究結果から CAXII の肺がんの新規血清診断マーカーとしての有用性が示唆されたという結論は、現在一般的に使用されている診断マーカーの有用性と比較してみると、さらに検討の余地があると思われた。

また、肺がん患者血清中の自己抗体の抗原として同定された蛋白についても、その有用性を検討する実験手技、過程は適切になされている。今回の研究結果からは、同定された蛋白について、新規診断マーカーとしての有用性は確認されていないが、今後の研究の進展が期待できる内容である。

本研究内容は、研究室の特長を生かした研究であり、今後のブレークスルーを期待させる研究内容である。博士の学位に相応しい研究と考えられる。